



いしかわかずひさ
さんむ 21 石川和久 議員

東京2020オリンピック・パラリンピック大会について

問 大会開催に向けた本市の取組から得た効果について、どのように評価しているか、市長の見解を伺います。

答 市長 国の掲げるホストタウン構想にいち早く手を挙げ、スリランカ国の事前キャンプ地として登録できたことは、国際理解への共生社会の経験や学びの場、また、異世代・異文化との交流機会を市民の皆様へ提供できたことなど、オリ・パラに取り組んできたことによる一定の効果はあったのではないかと感じています。

問 オリ・パラ教育の成果と今後の取組について、そして、このオリ・パラ大会のために整備された成東総合運動公園の陸上競技場の今後の活用計画についても併せて伺います。

答 教育長 パラリンピック代表選手を招いて開催したボッチャの大会

青少年派遣事業を活用した中高生のスリランカ派遣、招へい事業でのホームステイ受け入れなど、オリ・パラ大会で得られた経験や成果を活かし、情報化・グローバル社会で活躍できる人づくりにつながる教育活動を、引き続き行っていきたいと考えます。

答 教育部長 まだ、具体的な計画策定には至っていませんが、各世代、より多くの市民が継続的にスポーツに取り組み、心身ともに健康な生活を営むことができるよう、この陸上競技場を活用した事業を推進していきたいと考えます。

財政運営について

問 令和4年度の歳入見込み、歳出見込みについて、それぞれ伺います。

答 財政課長 【歳入】主要財源である市税のうち、個人市民税については、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響により、減少を見込んでいますが、一方で、経済活動が向上し見通しにより、前年度並みを見込みます。

法人市民税についても、景気の回復傾向による増額を見込んでいます。
固定資産税については、新型コロナウイルス感染症関連の徴収猶予の特例が終了するため、若干の増額を見込んでいます。

地方交付税については、地域デジタル

社会推進費など、新たな算定項目の追加や、人口急減補正の措置により、今年度並みの交付額を見込んでいます。
なお、その他、各交付金や市債等については、歳入全体では令和3年度と同程度の規模になる見通しです。

【歳出】当初予算編成にあたっては、新規事業や大幅増となる事業などの投資的経費を含めた歳出総額を歳入見込みと比較し、不足分を財政調整基金繰入金とシーリングによる削減で、調整を図ることをしています。

まず、投資的経費を決定した時点では、歳出総額が歳入見込みを11億7400万円上回っていましたが、財政調整基金繰入金金の目標額を10億円とし、差し引いた不足分については、8%のシーリングにより、削減を図ることとし、現在、各部において調整を行っているところです。

問 令和4年度からの新規事業または強化する事業について伺います。

答 市長 令和4年度完成予定の松尾小学校新校舎整備事業など、継続して実施する大型事業のほか、交通安全対策として引き続き実施する道路改良事業があります。

また、人口減対策としての結婚応援事業や三世代同居等支援事業も予定しています。

そして、新型コロナウイルス感染拡大

に伴う新しい社会への対応として、SDGs宣言制度導入事業や商店等魅力発信事業など、ソフト事業の計上も予定しています。

道路整備事業について

問 都市計画道路成東駅南口線事業の進捗状況について伺います。

答 都市整備課長 事業主体である県に確認したところ、用地買収については、令和3年11月末現在、用地買収面積の約8割が買収済みであり、事業延長約300メートルのうち、国道126号からの約100メートルについて、供用開始していると聞いています。

市としても、早期完成に向けて、引き続き、県に協力していきます。

問 成東駅北側周辺整備について、今後どのような進め方をしていくのか伺います。

答 都市整備課長 現時点では、宅地開発の需要が見込まれないことから、比較的实现可能な範囲に見直した宅地開発等を将来のまちづくりとして念頭に置いた、道路（主に都市計画道路和田新泉線）の先行整備を検討しています。

なお、都市計画道路の見直しは、都市計画法に基づく都市計画の変更手続が必要なことから、令和4年度に、それに係る調査や設計等の実施を予定しています。